

# マテリアルフローコスト会計 (MFCA) と 原価計算との比較

朱  
徐

玲  
陽

## Abstract

Material Flow Cost Accounting (MFCA) is a branch of environmental management accounting which was developed by Germany in the late 1990s and subsequently introduced to Japan. It has been applied to Japanese enterprises (SMEs) since 2000. MFCA has different focus and content from traditional costing, exemplified by the visualization of the cost data in production process. In 2011, Japan conducted the international standardization of MFCA according to ISO14051 and issued the standard ISO14052 for the MFCA application in supply chain in 2017. In 2018, Japan is now discussing the planning of the MFCA-related standard ISO14053. However, after referring to the relevant literatures in recent years, it is found that the development speed of MFCA is slowing down and that some scholars even have different views about MFCA. Under this background, this paper analyzes the essence of MFCA, and then compares MFCA with traditional Japanese cost accounting from three aspects: cost factor, calculation principle and calculation purpose. This study expects to get inspired from the comparison between the two different types of accountings and to provide references for exploring the internal reasons why recent development of MFCA slows down.

**Keywords:** Material Flow Cost Accounting (MFCA), Cost Accounting Standard, Material loss, Visualization

1. はじめに
2. MFCAとは
  - 2.1 MFCAの原則
  - 2.2 MFCAの発展経緯
  - 2.3 MFCAの定義
3. MFCAと伝統的な原価計算との比較
  - 3.1 コスト要素の相違
  - 3.2 計算方法の相違
  - 3.3 計算目的の相違
4. おわりに

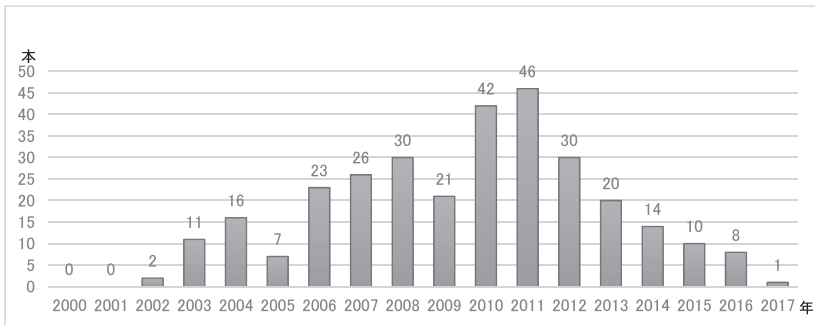
## 1. はじめに

マテリアルフローコスト会計 (Material Flow Cost Accounting, 以下MFCAとする)の原型は、1990年代後半にドイツで提唱されたフローコスト会計である。MFCAの基となった手法は、ドイツ・アウグスブルグの経営・環境研究所 (Institut für Management und Umwelt, Augsburg Germany, IMU)のベルン・ワグナー教授が環境管理手法として開発したフローコスト会計 (FCA)である。その後、2000年に、日本に紹介され、日本経済産業省が導入を促進したことで、200社以上の日本企業にMFCAが導入された。経済産業省は、2002年に、この成果を『環境管理会計手法ワークブック』に収録した。経済産業省は、2004年度から2010年度にかけてMFCAの普及・促進策を展開した。

図表1は、2000年から2017年まで、日本におけるMFCAに関する学術論文の掲載状況について、国立情報学研究所の学術情報データベース CiNii Articlesにおいて、「MFCA」と「マテリアルフローコスト会計」をキーワードとして検索した研究文献の数を示したものである。

図表1が示すように、2002年から2011年まではマテリアルフローコスト会計に関する研究文献数は増加傾向にあるが、2012年から減少している。さら

図表1 日本におけるマテリアルフローコスト会計に関する研究文献数



（出所）筆者作成

に、2011年に経済産業省がMFCA普及事例集を発行した後、日本における事例の報告も減少している（詳細は、本稿末の付録「日本における17年間の研究文献リスト」を参照）。

以上のことから、近年のMFCAの研究や実施が順調に進んでいると言えないと考えられる。その理由として、MFCAを企業に適用するにあたり、その限界と問題点の存在が考えられる。したがって、MFCAの限界と問題点を研究するため、本稿では、MFCAの本質と従来の原価計算との相違を明らかにすることを目的とする。本稿は、MFCAの限界を補完する手法の選択などの研究に必要な基礎研究として位置づけられるものと考えている。

本稿の構成は以下のとおりである。まず、第2節では、MFCAの原則、発展経緯、本質を明らかにする。第3節では、コスト要素、計算方法、計算目的という3つの側面から、MFCAと従来の原価計算との相違点を比較して、MFCAと原価計算とのコスト要素の関係、計算上の相互関係、企業に対する計算目的の相違点などを検討する。第4節では、結論を述べる。

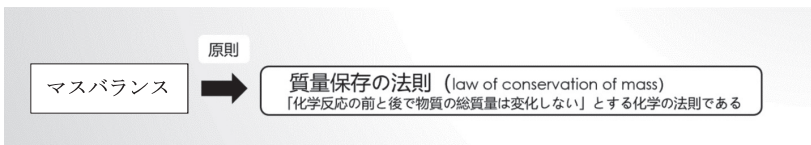
## 2. MFCAとは

MFCAとは、製造プロセスにおける資源やエネルギーのロスに着目して、そのロスに関連する材料費、加工費、設備償却費などを「負の製品コスト」として、総合的に行なう原価計算手法のことである。この手法で注目されるのは、経営者や現場管理者の意思決定に、MFCAが提供するロスの情報を用いることより、環境負荷（資源使用量）の低減による環境保全とコストダウンによる経済性の二つの両立を達成できる点である。MFCAを使って製造プロセスでの資源の無駄の可視化をすることは、省資源や省エネにもつながる。

### 2.1 MFCAの原則

MFCAの最も重要な理論的な根拠は、マテリアル<sup>1</sup>のフローを物量単位で捕捉するマスバランス<sup>2</sup>である。マスバランスの基本原理は「質量保存の法則」という化学変化と物量質量の関係を表す法則<sup>3</sup>である。図表2はMFCAが存在できる基本的な原則を示すものである。

図表2 MFCAの理論的な根拠



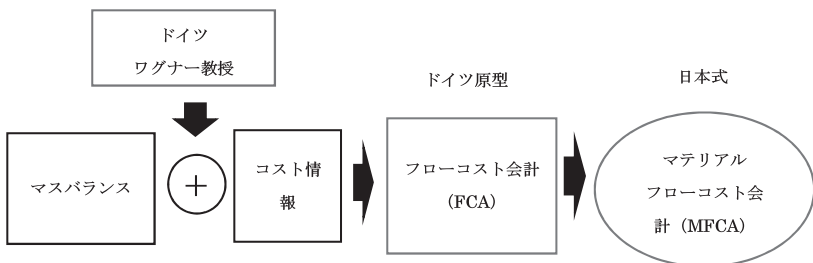
(出所) 國部・中嶋 (2018) 4頁を参照して作成

- 1 マテリアルとは、物質、材料、原料などを指す。
- 2 國部・中嶋 (2018) 4頁。マスバランスは、エコバランスあるいはマテリアルバランスとも呼ばれる。
- 3 「質量保存則」という法則について神鳥・松村・安川・石川 (2002) を参照のこと。

図表2に示す原則を基に、MFCAは、生産工程でのマテリアルフローに着目して、マスバランスを観測し、製造プロセスにおける資源やエネルギーのロスに注目して、工程中のこれらのロスの内容を詳細に分析し、そのロスに投入した材料費、加工費、設備償却費などを「負の製品コスト」として、総合的にコスト評価を行い、生産工程での問題点を摘出し、ロスが生じる問題点の改善に役立てようとする手法である。

図表3は、マテリアルのフローを物量単位で捕捉するマスバランスに単価

図表3 MFCAの開発



(出所) 筆者作成

を乗じてコスト情報を求めることによって、MFCAの計算方法が開発されたことを示すものである。開発者のワグナー教授は、コスト情報を追加することで、マテリアルのフローへの経営者の関心が格段に高まったと述べている<sup>4</sup>。

## 2.2 MFCAの発展経緯

日本では、2000年から経済産業省により環境管理会計手法が開発され、これをきっかけにMFCAの導入を試み、その成果は、2002年に発行された『環

4 國部・中寫（2018）5頁。

境管理会計手法ワークブック』において、200社以上の企業での事例研究も踏まえて「マテリアルフローコスト（MFCA）会計として」収録されている。

図表4は、ドイツのFCAと日本のMFCAとの相違をまとめたものである。図表4から、日本におけるMFCAは、ドイツFCAの手法より簡易であり、EXCLE表で日本企業に柔軟的な形で導入されていることがみえる。

図表4 ドイツFCAと日本MFCAとの相違

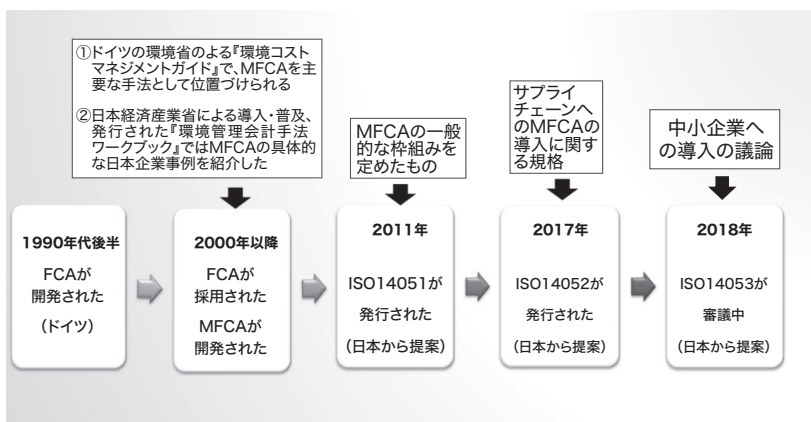
	ドイツにおけるFCA	日本におけるMFCA
経緯	1990年代から起源	2000年から発展
対象	究極的には工場全体のマテリアルのフローすべてを物量とコストで測定することを目指す	一製品もしくは一プロセス単位で導入可能なもので、対象とするコストの範囲も目的に応じて柔軟に変更できる
計算方法	原材料の区別をフロー全体で維持する詳細な計算	簡易型の計算方法
必要条件	ERPシステム必要	Excelで計算できる

（出所）國部・中寫（2018）5-6頁を基に筆者作成

さらに、筆者は、2000年から2017年まで、MFCAに関する発展経緯を整理した。その結果を示したのが図表5である。図表5が示すように、FCAはドイツで開発されたが、日本でMFCAとして発展している。この過程で、2011年にMFCAの一般的な枠組みを定めたISO14051が発行された。その後、サプライチェーンへのMFCAの導入に関する規格が提案され、2017年にISO14052として発行された。さらに、2017年には、中小企業向けのMFCAに関する新規提案が承認され、現在はISO14053として審議中である<sup>5</sup>。

5 國部・中寫（2018）6頁。

図表 5 MFCAの発展経緯



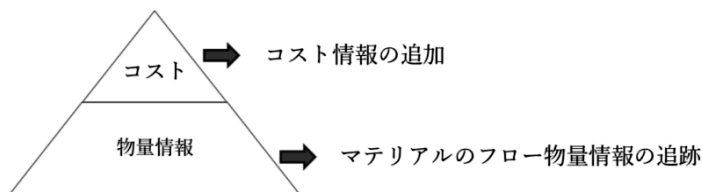
（出所）筆者作成

### 2.3 MFCAの定義

MFCAは、マスバランスを原点として、工程内の原材料（マテリアル）を実際の流れ（フローとストック）に応じて投入物質ごとに物量を計算し、それに単価を乗じることで、コストを計算する手法だと言えるだろう。

さらに、図表6が示すように、MFCAの本質は、サプライヤーからマテ

図表 6 MFCA本質のイメージ図



（出所）筆者作成

リアルが導入され、最終的に製品とマテリアルロス<sup>6</sup>として企業の外へ出ていくことまでの流れを物量情報として捉えるとともに、それを基礎として金額単位でコスト情報として把握することにあると考えられる。すなわち、MFCAは物量とコストの2つの情報を測定し管理するシステムである<sup>7</sup>。

### 3. MFCAと伝統的な原価計算との比較

本章では、日本における伝統的な原価計算を代表するものとして『原価計算基準』（以下『基準』）を取り上げ、日本におけるMFCAの計算の仕組み<sup>8</sup>と比較する。

『基準』によると、原価とは経営における一定の給付にかかわらせて、把握された財貨または用役の消費を貨幣価値的に表わしたものである。つまり、伝統的原価計算（以下、単に原価計算という）は、販売されて市場で回収されるべき価値の計算を目的としている。これに対して、MFCAの計算は、物質的な構成比率を基礎とするものであり<sup>9</sup>、製品（正の製品）になるコストと廃棄物であるロス（負の製品）のコストを明確に分別して計算することを目的としている。具体的な相違点について以下の3つの側面から述べる。

#### 3.1 製造原価分類の相違

原価計算においては、『基準』に基づき、費用の発生を基礎として製造原

---

6 マテリアルロスの多くは廃棄物だが、エネルギーロスや化学物質の自然発揮などもマテリアルロスに含まれる（國部・中嶋（2018）8頁）。

7 中嶋・國部（2008）96頁。

8 MFCAの計算方法については、原材料の区別をフロー全体で維持する詳細なドイツ式の計算より、日本式の簡易型の計算方法が採用されている（ドイツのMFCA計算方法に、図表4を参照）。

9 中嶋・國部（2008）96頁。



価が分類されている。製造原価の分類の基本は形態別分類である<sup>10</sup>。図表7は、『基準』により形態別に従った製造原価の分類を示すものである。

図表7 原価計算における製造原価分類（形態別）

<p>材料費とは、物品の消費に生じる原価をいい、おおむね次のように細分する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 素材費（原料費）</li> <li>2 買入部品費</li> <li>3 燃料費</li> <li>4 工場消耗品</li> <li>5 消耗工具器具備品費</li> </ol>
<p>労務費とは、労務用役の消費によって生ずる原価をいい、おおむね次のように細分する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 賃金（基本給のほか割増賃金を含む）</li> <li>2 給料</li> <li>3 雑給</li> <li>4 従業員賞与手当</li> <li>5 退職給与引当金繰入額</li> <li>6 福利費（健康保険料負担金等）</li> </ol>
<p>経費とは、材料費、労務費以外の原価要素をいう</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 減価償却費</li> <li>2 棚卸減耗費</li> <li>3 福利施設負担額</li> <li>4 修繕料</li> <li>5 電力、ガス、水道料</li> <li>6 旅費交通費など</li> </ol>

（出所）日本における『原価計算基準』第2章第2節を基に筆者作成

他方、MFCAの計算では、すべての製造原価を、図表8の示すように4つに分類している<sup>11</sup>。

図表8が示すように、投入された原材料費であるMC(マテリアルコスト)だけではなく、労務費や減価償却費であるSC(システムコスト)、加工費や電力費・燃料費などのエネルギー費であるEC(エネルギーコスト)、排気、

10 『原価計算基準』第二章第一節（八）。

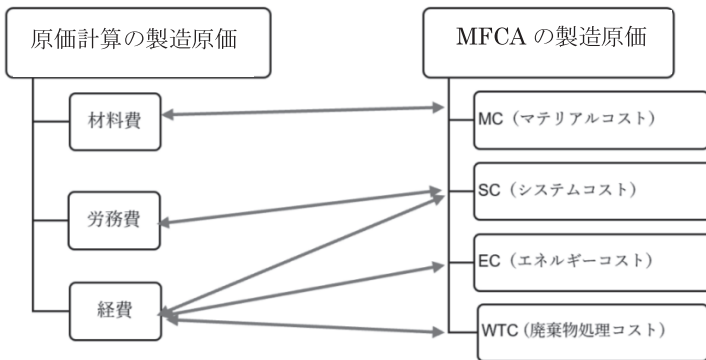
11 國部（2008）20頁。

図表8 MFCAにおける製造原価の分類

<p><u>MC</u> (Material Cost) : 最初の工程から投入する主材料だけでなく途中の工程で追加する副材料・洗浄剤・溶剤・触媒などの補助材料も含める</p>	<p>1 材料費 2 補助材料</p>
<p><u>SC</u> (System Cost) : 労務費・減価償却費, 加工費などの間接労務費</p>	<p>1 労務費 2 減価償却費 3 設備の修繕・維持費など</p>
<p><u>EC</u> (Energy Cost) : 電力費・燃料費などのエネルギー費</p>	<p>1 電力費 2 燃料費 など</p>
<p><u>WTC</u> (Waste Treatment Cost) : 配送・処理 産廃の処理費用など</p>	<p>1 廃棄物処理費</p>

(出所) 國部 (2008) 20頁を基に筆者作成

図表9 原価計算とMFCAとの製造原価分類原価の対応関係



(出所) 筆者作成

廃液、廃棄物の所内における処理費用や外部へ処理委託する際の委託費用である WTC (廃棄物処理コスト) なども、MFCAでは重要なコスト要素となる。

図表9は、前述の図表7と図表8を基に作成した原価計算とMFCAとのそれぞれ製造原価の対応関係を示すものである。具体的に以下の通りである。

- 1) 原価計算における材料費とMFCAのMC（マテリアルコスト）の計上内容は同じである。
- 2) 労務費は、SC（システムコスト）に属する。しかし、SCには、労務費だけではなく原価計算では経費に計上されている減価償却費なども計上されている。
- 3) 原価計算における経費が、MFCAの計算上では、SC、EC、WTCの3つに分けて計算される。

以上で分かるように、原価計算では、発生したコストを、製造原価要素別に分類した後、製品別に集計しているの、製造プロセスにおいて発生するロスの原価を表すことができない。MFCAの計算は、原価計算のコスト分類と異なり、製造に関するコスト要素の分類を変更によりロスの原価を把握しようとしていることがわかる。

### 3.2 計算方法の相違

原価は、最終的には、製品に対して集計され、さらに製品単位の計算が実施される<sup>12</sup>。実際原価計算においては、製造原価は、原則としてその実際発生額をまず費目別に計算し、次いで原価部門別に計算し、最後に製品別に集計する。図表10はこの過程を表示したものである。

図表10 原価計算の手順



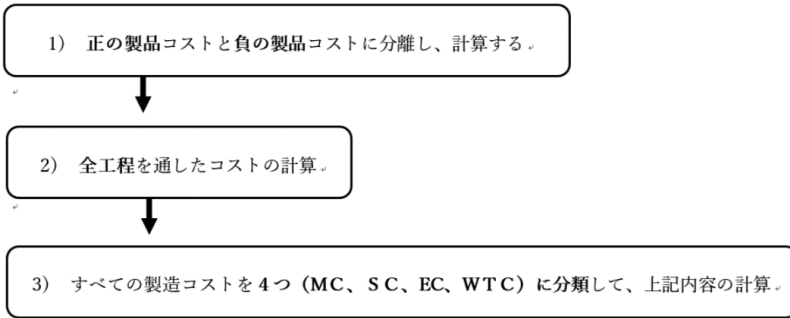
（出所）東海（2010）48頁

12 東海（2010）48頁。

これに対して、MFCAにおいては、伝統的な生産管理や原価計算とは違った現場の見方やデータの収集が必要となる。MFCAの計算は、工程内の原材料（マテリアル）を実際の流れ（フローとストック）に応じて投入物質ごとに物量計算し、それに単価を乗じることでコスト計算を行う<sup>13</sup>。

経済産業省（2009）では、MFCAにおける製品の製造原価の計算手順が、図表11のように示されている。

図表11 MFCAの計算の手順



（出所）経済産業省（2009）5頁を基に筆者作成

この計算手順では、「正の製品コスト」とは、次工程に受け渡されたもの（正の製品）に投入したコスト、「負の製品コスト」とは、廃棄物やリサイクルされたもの（負の製品）に投入したコストと説明されている。特に「負の製品」については、経済産業省（2009）によると、「製造においては様々な段階で廃棄物、原材料のロスが発生するが、加工における廃棄物」ということである<sup>14</sup>。図表12は、それを示したものである。

13 國部・中瀧（2018）6頁。

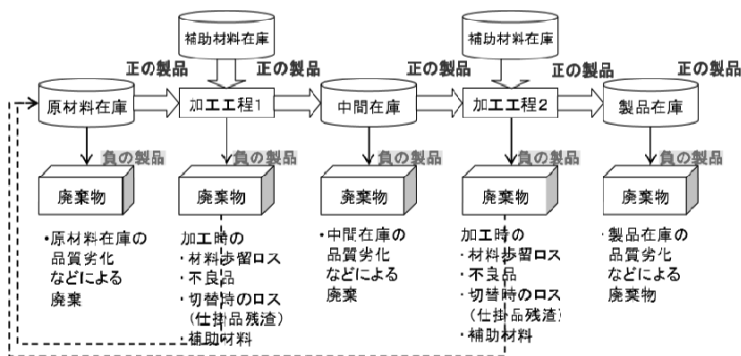
14 経済産業省（2009）5頁。

図表12 MFCAにおける「負の製品」

1) 加工における廃棄物は、加工時の材料ロス（端材や切粉など）、不良品、不純物・切り替え時の装置内に残った残渣など
2) 補助材料（溶剤など揮発する材料、切り替え時に装置を洗浄する洗剤、触媒など）
3) 原材料在庫，中間在庫，製品在庫が、品質悪化などで使用できなくなり廃棄したもの

（出所）経済産業省（2009）3頁

図表13 MFCAにおける「正の製品」と「負の製品」



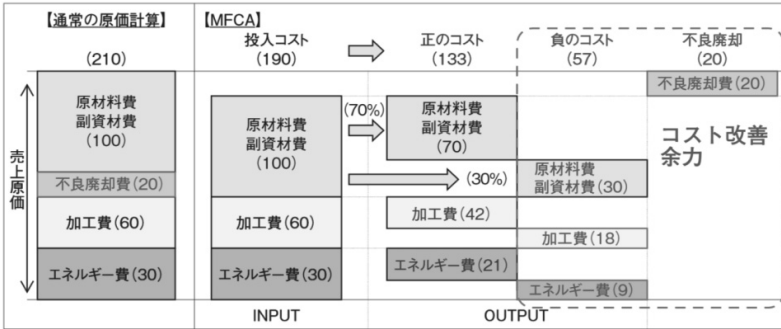
（出所）経済産業省（2009）3頁

図表12と図表13が示すように、MFCAでは製品になった材料を「正の製品」、製品にならなかった材料、つまり廃棄物、排出物はすべて「負の製品」という。さらに、MFCAにおいて、「負の製品」つまりマテリアルロスはこの式で示される。

$\text{負の製品（マテリアルロス）} = \text{投入コスト} - \text{正の製品コスト}$
--

ただし、原価計算とは異なり、MFCAでは、MC, SC, ECはすべてマテリアルの重量比で「正の製品」と「負の製品」に配分され、WTCはマテリアルロスに関係してのみ生じるので、「負の製品」に計上される。さらに、

図表14 原価計算とMFCAの違い



(出所) 日本政策金融公庫 (2013) 1頁

原価計算とMFCA計算の過程を比較してまとめたものが図表14である。

なお、原価計算におけるロスとは、生産プロセスから生じる不良品や仕損などを指すが、これらの歩留管理では、異常な要因で発生した量が管理対象となり、毎期標準的に発生する仕損・減損は管理対象とならない<sup>15</sup>。これに対して、図表14から、製造過程で発生したコストを製品原価に含めることにより原価計算では見えなくなっていたロスが、MFCAの計算を通じて失われた価値（コスト改善余力）として可視化されていることがわかる。しかし、企業経営の立場に立ってみれば、原価計算が算出する数字は、市場で回収されるべき最低限の価値を示している。一方、MFCAで算出される金額は、市場で回収されるべき価値を示しているわけではない。この金額は、資源生産性が100%で廃棄物がゼロという経営面でも環境面でも理想的な生産環境のもとでの原価を仮想的に示しているにすぎない<sup>16</sup>。

要するに、原価計算とMFCA計算とでは、ロスに関わる考え方が異なっているため、結果(金額)も違っている。両者の計算手順と結果の考察から、伝統的な原価計算による製造原価（材料費、労務費、経費）がMFCAの製

15 國部・中畠 (2018) 34頁。

16 中畠・國部 (2008) 74頁。

造原価の分類方法で再分類でき、結果としてMFCAの製造原価の分類(MC, SC, EC, WTC)になることが明らかになった。さらに、MFCAの計算プロセスから原価計算の情報が得られるが、逆に原価計算プロセスからMFCAの情報が得られないと考えられる。

### 3.3 計算目的の相違

『基準』によると、原価計算には各種の異なる目的が与えられるが、主たる目的は、図表15に示す5つである。

図表15 原価計算の目的

1) 財務会計目的	過去の一定期間における損益ならびに期末における財政状態を財務諸表に表示するために必要な真実の原価を集計する損益計算書に記載される売上原価と貸借対照表に記載される仕掛品、製品などの棚卸資産価額を決定するための基礎資料を提供するもの
2) 価格計算目的	原価を計算してそれに一定の利益をマークアップして価格を決定するためには、原価計算が適切に行われていなければ望ましい価格を決定することができない
3) 原価管理目的	経営管理者の各階層に対して、原価管理に必要な原価資料を提供すること。ここに原価管理とは、原価の標準を設定してこれを指示し、原価の実際の発生額を計算記録し、これを標準と比較して、その差異の原因を分析し、これに関する資料を経営管理者に報告し、原価能率を増進する措置を講ずることをいう
4) 予算管理目的	予算の編成ならびに予算統制のために必要な原価資料を提供すること。ここに予算とは、予算期間における企業の各業務分野の具体的な計画を貨幣的に表示し、これを総合編成したものをいい、予算期間における企業の利益目標を指示し、各業務分野の諸活動を調整し、企業全般にわたる総合的管理の要具となるものである。予算は、業務執行に関する総合的な期間計画であるが、予算編成の過程は、たとえば製品組合せの決定、部品を自製するか外注するか決定等個々の選択の事項に関する意思決定を含むことは、いうまでもない

5) 基本計画目的	経営の基本計画を設定するに当たり、これに必要な原価情報を提供すること。ここに基本計画とは、経済の動態的变化に適応して、経営の給付目的たる製品、経営立地、生産設備等経営構造に関する基本的事項について、経営意思を決定し、経営構造を合理的に組成することをいい、随時的に行なわれる決定である
-----------	---

(出所)『原価計算基準』の第1章に基づいて筆者作成

図表15から、原価計算は発生した総額を製品別に集計することが目的であるため、製造過程においてどれだけムダが発生したかを把握することができない。さらに、「歩留率」や「不良率」は、比率としてとらえるため、どのくらいムダなコストがかかったのかを把握することができないという指摘がある<sup>17</sup>。

他方、MFCAは、提供する情報を企業経営へ活かすことによって、図表16のような目的が達成できる。

図表16 MFCA計算の目的

1) マテリアルロスの削減・改善	マテリアルロスとなった物質単ごと及びトータルで、物量と金額の両面でロスの大きさを評価・みえることで、マテリアルロスの大きさを認識することになり、改善（マテリアルロスの削減）への動機づけと道筋を与える
2) 工場全体で改善活動とすること	マテリアルロスの責任は殆ど現場にはないということで、現場を中心に3現（現場、現物、現実）を行い、前後工程、生産技術、品質、製品技術、設計、生産管理、場合によっては調達、総務、経理などの部門が連携して全部門の責任として改善に取り組むことになり、全部門を巻き込むためにはトップの関与が必要条件である。マテリアルロスの大きさには、トップが大いに関心を持つことで、工場トップのリーダーシップの下、工場全体で改善活動とする

17 日本政策金融公庫（2013）1頁。



3) 環境負荷削減	MFCAによるマテリアルロス改善は、経営的には現金効果（コスト削減+キャッシュフロー改善）と廃棄物の発生量を減少することで環境負荷削減を同時に実現すること
-----------	---

（出所）中畠・國部（2008）65頁に基づいて筆者作成

通常、損益計算書の製造原価は一種類しかないが、図表17は、これを「正の製品」に関わる製造原価と「負の製品」に関わる製造原価の二種類に分けて計上し、MFCAの適用によるロスを減少する改善一例である。MFCAが提供する情報は、どの程度の製造原価を下げるができるかという改善余地を示す。そして、企業がそれに着目しつつ、改善目標を設定し、トータルの製造原価を下げていく活動を実施すれば、図表17のように「正の製品」の割合が上がっていくことになる。そこで、材料や資源を利用する効率性が高まって製品の製造原価を下げると共に、環境汚染の原因になる生産プロセスから排出されるロスの量も減少している。図表17のような結果が得られれば、それは資源を有効活用して環境負荷の低減を図っている証しとなり、CSRという観点でも非常に有効だと考えられる。

図表17 MFCAにおける製造原価の分類

	2001年	2004年	2012年
正の製品	67%	78%	93%
負の製品	33%	22%	7%

（出所）『ムダを利益に料理するマテリアルローコスト経営』第4章の日東電工資料を参照して作成

以上で、原価計算とMFCA計算の目的が異なることを明確した。企業経営の立場から見ると、利益に注目するためには原価計算が不可欠な情報だと考えられる。しかし、マテリアルロス（廃棄物）に注目するMFCAは、原価計算ほど直接的に企業利益を反映することはできない。それは、企業が積極的にMFCAを受け入れるネックとなり、MFCAの普及・発展にも限界になると考えられる。

## 4. おわりに

本稿では、MFCAの定義を示した上で、コスト分類、計算方法、計算目的の3つの側面からMFCAと原価計算との比較を行った。その結果は、以下のようにまとめられる。

第1は、MFCAは物量とコストの2つの情報を、測定し管理するシステムである。

第2は、MFCAと原価計算との比較から、以下の3つのことが分かった。

- (1) MFCAにおけるコスト要素は、原価計算コスト要素を詳しく再分類したものである。
- (2) MFCA計算における手順、考え方、ロスの見方などは、原価計算とは異なっているが、MFCA計算による結果から原価計算の情報が得られることが分かった。
- (3) 企業にとって、MFCA計算の目的より原価計算目的の方が、利益との繋がりがあると言える。

このように、MFCAが元々管理会計の新手法として開発・発展されていることで、原価計算とMFCAの比較・考察により、MFCAの本質や比較から出てきた問題点を明らかにした。

結論としては、MFCAの計算方法は原価計算より企業に提供する情報が多く、詳細であるため、MFCAの計算プロセスから伝統的な原価計算の情報を抽出することができるが、但し、MFCAが市場から回収すべき製品に金額という情報の提供を中心としないため、経営者に十分な注意を引き起さないことも分かった。本論文の結論を基に、MFCAにおける問題点に関する研究を今後の課題にしたい。将来はMFCAの限界を明確し、これらを突破する改善策に注目したいと考える。

参 考 文 献

- Chattinnawat,W.(2013) "Identification of Improvement for Multistage Serial Processes with respect to Material Flow Cost Accounting via Dynamic Programming,"*EMAN -EU 2013 Conference on Material Flow Cost Accounting*
- 神鳥 和彦・松村衣里・安川あけみ・石川達雄 (2002)「中学校における二酸化炭素を用いた質量保存の法則に関する実験教材の開発」『化学と教育』226-227頁, 2002年50巻3号
- 企業会計審議会 (1962)『原価計算基準』1962年11月8日
- 経済産業省 (2002)『環境管理会計手法ワークブック』
- 経済産業省 (2009)『マテリアルフローコスト会計手法導入ガイド (ver.3)』
- 経済産業省 (2011)『MFCA事例集2011』
- 國部克彦 (2008)『実践マテリアルフローコスト会計』産業環境管理協会
- 國部克彦・中寫道靖 (2018)『マテリアルフローコスト会計の理論と実践』同文館出版
- 清水孝 (2012)『原価計算』税務経理協会
- 朱玲 (2011) 修士論文『MFCAに基づく中国企業における「節能減排」』修士論文
- 朱玲 (2014)「MFCA与原価計算比較へのアプローチ」『科技諮訊』(Science & Technology Information) 2014年第34号 122-123頁 (中国語)
- 朱玲 (2018)「MFCAと中国企業の省エネ・排出削減」『研究論集』長崎大学大学院経済学研究科 第13号
- 東海幹夫 (2010)『原価計算管理会計』清文社
- 中寫道靖・國部克彦 (2008)『マテリアルフローコスト会計』日本経済新聞出版社
- 中寫道靖・木村麻子 (2012)「MFCAによる改善活動と予算管理」『原価計算研究』36(2), 15-24頁
- 中寫道靖 (2016)『意思決定支援ツールとしてのマテリアルフローコスト会計 (特集 マテリアルフローコスト会計 (MFCA))』日本LCA学会誌 = Journal of Life Cycle Assessment, Japan 12(2), 71-76頁
- 日本MFCA フォーラム <http://www.mfca-forum.com/> 2018年10月21日
- 日本政策金融公庫 (2013)「マテリアルフローコスト会計 (MFCA)」『経営情報』2013年12月19日 NO.391
- 廣本敏郎・挽文子 (2015)『原価計算論第3版』中央経済社
- 古川芳邦・立川博巳・古川英潤 (2014)『ムダを利益に料理するマテリアルフローコスト経営』日本経済新聞出版社

## 【付録】日本におけるマテリアルフローコスト会計に関する研究文献のリスト

2002年 (2本)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 魚住 隆太 「クローズ・アップ コスト削減と環境負荷削減を同時実現 マテリアル・フロー・コスト会計の導入手順」</li> <li>2. 松本亨・左 健・岩尾拓美「都市の有機物資源循環構造を記述するマテリアルフローコスト会計の提案」</li> </ol>
2003年 (11本)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 古川 芳邦「マテリアルフローコスト会計の手法的特徴－日東電工の企業事例を中心に」</li> <li>2. 八木 裕之 書評「中島道靖・國部克彦著『マテリアルフローコスト会計』」</li> <li>3. 國部 克彦・中寫 道靖「環境管理会計におけるマテリアルフローコスト会計の位置づけ－環境管理会計の体系化へ向けて」</li> <li>4. 安城 泰雄「環境経営とマテリアルフローコスト会計（特集 マテリアルフローコスト会計）」</li> <li>5. 河野 裕司「マテリアルフローコスト会計」を活用したコスト低減と環境負荷削減への挑戦－廃棄物処理方法見直しによる実践的取り組みについて（特集 マテリアルフローコスト会計）」</li> <li>6. 古川 芳邦「日東電工のマテリアルフローコスト会計の取組みについて－マネジメントツールとしてのマテリアルフローコスト会計（特集 マテリアルフローコスト会計）」</li> <li>7. 中寫 道靖「CTスキャンとしてのマテリアルフローコスト会計（特集 マテリアルフローコスト会計）」</li> <li>8. 國部 克彦「環境管理会計の基盤システムとしてのマテリアルフローコスト会計（特集 マテリアルフローコスト会計）」</li> <li>9. 特集 マテリアルフローコスト会計</li> <li>10. 中寫 道靖「マテリアルフローコスト会計と伝統的原価計算との相違について：マテリアルフローコスト会計への疑問と誤解に答えて」</li> <li>11. 中寫 道靖・國部 克彦「管理会計におけるマテリアルフローコスト会計の位置付け」</li> </ol>
2004 (16本)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Nakajima Michiyasu "On the Differences between Material Flow Cost Accounting and Traditional Cost Accounting : In Reply to the Questions and Misunderstandings on Material Flow Cost Accounting"</li> <li>2. 東田 明「グリーン・サプライチェーン・マネジメントにおけるマテリアルフローコスト会計の適用可能性」</li> <li>3. 小池 裕子「CSR会計の最新事情－付加価値計算書型・収益分配型とコスト対効果型（特集 2004年版環境報告書の徹底分析－内部管理と外部報告の両面で「深化」マテリアルフローコスト会計 プロジェクト会計 温暖化対策規制 環境ストック CSR会計）」</li> </ol>

4. 斎尾 浩一朗 「ハウステンボスの「環境ストック計算書」－過去からの環境保全活動を体系的に表現」（特集 2004年版環境報告書の徹底分析－内部管理と外部報告の両面で「深化」マテリアルフローコスト会計 プロジェクト会計 温暖化対策規制 環境ストック CSR会計）
5. 呉 清輝・本多 昇「温暖化対策規制が企業財務に与える影響－将来の国内規制に向けた地球温暖化プロジェクト会計の実施」（特集 2004年版環境報告書の徹底分析－内部管理と外部報告の両面で「深化」マテリアルフローコスト会計 プロジェクト会計 温暖化対策規制 環境ストック CSR会計）
6. 五所 亜紀子「「環境施策」「環境配慮製品・サービス」ごとにつかむプロジェクト会計の企業経営への利用」（特集 2004年版環境報告書の徹底分析－内部管理と外部報告の両面で「深化」マテリアルフローコスト会計 プロジェクト会計 温暖化対策規制 環境ストック CSR会計）
7. 早川 晃「効果が見えてきたマテリアルフローコスト会計－環境負荷削減とコスト削減の両立に向けた意思決定への布石」（特集 2004年版環境報告書の徹底分析－内部管理と外部報告の両面で「深化」マテリアルフローコスト会計 プロジェクト会計 温暖化対策規制 環境ストック CSR会計）
8. 白井 ゆりあ「業種別にみる環境会計の現状」（特集 2004年版環境報告書の徹底分析－内部管理と外部報告の両面で「深化」マテリアルフローコスト会計 プロジェクト会計 温暖化対策規制 環境ストック CSR会計）
9. 特集 2004年版環境報告書の徹底分析－内部管理と外部報告の両面で「深化」マテリアルフローコスト会計 プロジェクト会計 温暖化対策規制 環境ストック CSR会計
10. 経営に生かす環境会計－マテリアルフローコスト会計 環境投資の効率化やものづくり強化に威力（日経BP環境経営フォーラム ECO graph コストダウンと投資効率アップに役立つ環境会計）
11. 藤本 孝一郎「マテリアルフローコスト会計の視点」
12. 臼谷 健一「マテリアルフローコスト会計における製品原価の拡張」
13. 岡島 純・角田 哲夫「マテリアルフローコスト会計の取組み」
14. 國部 克彦・中畠 道靖「リサーチ 環境管理会計の展開－マテリアルフローコスト会計を中心に」
15. 河野 裕司「ERPと連携したマテリアルフローコスト会計のシステム化と戦略的展開」（ミニ・テーマセッション 環境会計・環境管理会計の国際的展開）
16. 安城 泰雄「キヤノンにおける環境経営とマテリアルフローコスト会計の導入」（ミニ・テーマセッション 環境会計・環境管理会計の国際的展開）

<p>2005年 (7本)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外山 たか之「非金銭活動と金銭価値を精緻な構造で結ぶ基本原理：複雑で多元的原価作用因の求源可能なモデル化理論とその拡大」</li> <li>2. 下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計（3）経済産業省のモデル事業からみたモノづくりの管理・改善における活用方法」</li> <li>3. 中罵 道靖「実践マテリアルフローコスト会計（2）新たな管理会計ツールとしての可能性」</li> <li>4. 國部 克彦「実践マテリアルフローコスト会計（1）日本におけるマテリアルフローコスト会計の展開」</li> <li>5. 皆川 智一 &lt;修士論文要旨&gt;環境管理会計のためのマテリアルフローコスト会計の一考察－有効性と拡張可能性－</li> <li>6. 河野 裕司「環境経営におけるマテリアルフローコスト会計 企業経営と環境保全を両立する環境会計の導入」</li> <li>7. 日経BP 環境会計で勝つ！ 田辺製薬 工程別廃棄物コストを算出，まずは年間6000万円削減（検証！ 成果出す業務革新ピフォー・アプター）</li> </ol>
<p>2006年 (23本)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 松本 亨・左 健「循環型社会に向けた都市環境インフラの再構築とLCAの役割」（特集 循環型社会のLCA）</li> <li>2. Nakajima Michiyasu "The New Management Accounting Field Established by Material Flow Cost Accounting (MFCA)"</li> <li>3. 楊 軍「中国企業におけるMFCA導入事例研究」</li> <li>4. 柴田 学・松本 亨・左 健「マテリアルフローコスト会計概念を採用した物量会計表の時系列展開による都市資源循環施策の評価」</li> <li>5. 柴田 学・松本 亨「地域の循環連鎖を評価するマテリアルフローコスト会計の構築」</li> <li>6. 大西 靖「実践マテリアルフローコスト会計（15）マテリアルフローコスト会計によるコストマネジメント活動」</li> <li>7. 前川 昭「実践マテリアルフローコスト会計（14）滋賀県におけるマテリアルフローコスト会計の普及活動」</li> <li>8. 下垣 彰「マテリアルフローコスト会計（2）マテリアルフローコスト会計，その効果的運用のために－原価計算の新潮流 "ロスコストの見える化"」</li> <li>9. 中罵 道靖「実践マテリアルフローコスト会計（13）電力業におけるマテリアルフローコスト会計の導入可能性に関して」</li> <li>10. 下垣 彰「マテリアルフローコスト会計（1）原価管理の新潮流 "ロスコストの見える化" を」</li> </ol>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>11. 天野 輝芳「実践マテリアルフローコスト会計 (12) マテリアルフローコスト会計の無電解ニッケルメッキラインへの適用 - 島津製作所の事例」</li> <li>12. 國部 克彦・伊坪 徳宏・中寫 道「マテリアルフローコスト会計とLIMEの統合可能性」</li> <li>13. 東田 明「実践マテリアルフローコスト会計 (11) マテリアルフローコスト会計とサプライチェーン」</li> <li>14. 沼田 雅史「実践マテリアルフローコスト会計 (10) 積水化学工業のマテリアルフローコスト会計導入の取り組み」</li> <li>15. 池田 猛「実践マテリアルフローコスト会計 (9) 経営指標にマテリアルフローコスト会計を使用した事例」</li> <li>16. 功刀 昭志「実践マテリアルフローコスト会計 (8) マテリアルフローに着目した環境改善活動 - グリーンプロセス活動について」</li> <li>17. 古川 芳邦「実践マテリアルフローコスト会計 (7) マテリアルフローコスト会計の集計から設備投資決定までのフロー」</li> <li>18. 河野 裕司「実践マテリアルフローコスト会計 (6) 田辺製薬におけるマテリアルフローコスト会計の全社展開」</li> <li>19. 大島 正克・竹森 一正「わが国の公害に関する環境管理会計学的検証: 水俣病のマテリアルフローコスト会計」</li> <li>20. 安城 泰雄「実践マテリアルフローコスト会計 (5) 職場拠点型環境保証活動のツールとしてのマテリアルフローコスト会計」</li> <li>21. Close Up コストダウンの新たな切り口 導入広まるマテリアルフローコスト会計 - 廃棄物のロスを物量と金額で見える化</li> <li>22. 伴 竜二「実践マテリアルフローコスト会計 (4) マテリアルフローコスト会計の中小企業での取り組み」</li> <li>23. 大西 靖「マテリアルフロー指向のコストマネジメント: アメリカにおける環境管理会計の展開」</li> </ol>
<p>2007年 (26本)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 國部 克彦・山田 朗「実践マテリアルフローコスト会計 (27) 外部環境経営評価指標としての環境影響統合評価指標とMFCAの活用」</li> <li>2. 下垣 彰「材料ロスを "見える化" するMFCA活用入門 (4) MFCAは材料ロスの問題に気づかせる」</li> <li>3. 國部 克彦・下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計 (26) MFCAのサプライチェーン展開 - サプライチェーンにおけるMFCA情報共有の意義」</li> </ol>

4. 下垣 彰「材料ロスを "見える化" するMFCA活用入門 (3) MFCAが問題解決に目覚めさせる」
5. 中嶋 道靖・石田 恒之「実践マテリアルフローコスト会計 (25) マテリアルフローコスト会計のシステム化」
6. 下垣 彰「材料ロスを "見える化" するMFCA活用入門 (2) MFCAはモノづくりを鍛える」
7. 國部 克彦・下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計 (24) MFCAとLCAの統合の手順と実践-キヤノンを事例として」
8. 下垣 彰「材料ロスを "見える化" するMFCA活用入門 (新連載・1) MFCAがモノづくりのロスを "見える化" する」
9. 國部 克彦・下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計 (23) MFCAとLCAの統合と活用の意義-マテリアルフローにおけるコストと環境影響の統合分析」
10. 経済産業省産業技術環境局環境政策課環境調和産業推進室「実践マテリアルフローコスト会計 (22) 経済産業省の取り組みと今後の展開」
11. 安城 泰雄「実践マテリアルフローコスト会計 (21) リサイクル工程・リサイクル事業へのマテリアルフローコスト会計の適用」
12. 中嶋 道靖「II マテリアルフローコスト会計 (MFCA) の新展開: MFCAにおけるエネルギー分析への展開および既存の生産管理 (TPMを題材に) に対するMFCAの意義について」
13. 沼田 雅史「積水化学グループにおけるマテリアルフローコスト会計導入の取り組み」(特集 マテリアルフローコスト会計の実践: 環境管理会計による原価低減と環境配慮)
14. 河野 裕司「田辺製薬におけるマテリアルフローコスト会計の導入と展開」(特集 マテリアルフローコスト会計の実践: 環境管理会計による原価低減と環境配慮)
15. 安城 泰雄「キヤノンにおけるマテリアルフローコスト会計の導入」(特集 マテリアルフローコスト会計の実践: 環境管理会計による原価低減と環境配慮)
16. 古川 芳邦「マネジメントツールとしてのマテリアルフローコスト会計-企業の実践とISO化の展望」(特集 マテリアルフローコスト会計の実践: 環境管理会計による原価低減と環境配慮)
17. 中嶋 道靖「マテリアルフローコスト会計導入に向けた情報システムの構築」(特集 マテリアルフローコスト会計の実践: 環境管理会計による原価低減と環境配慮)



	<ol style="list-style-type: none"> <li>18. 國部 克彦「マテリアルフローコスト会計の意義と展望」（特集 マテリアルフローコスト会計の実践：環境管理会計による原価低減と環境配慮）</li> <li>19. 特集 マテリアルフローコスト会計の実践：環境管理会計による原価低減と環境配慮</li> <li>20. 國部 克彦「マテリアルフローコスト会計の継続的導入に向けての課題と対応」</li> <li>21. 沼田 雅史「マテリアルフローコスト会計導入の取組み－積水化学グループの事例」</li> <li>22. 岡島 純「実践マテリアルフローコスト会計（20）日本ペイントにおける環境マネジメントツールとしてのマテリアルフローコスト会計」</li> <li>23. 國領 芳嗣「実践マテリアルフローコスト会計（19）シオノギのマテリアルフローコスト会計導入について」</li> <li>24. 田島 京子「実践マテリアルフローコスト会計（18）マテリアルフローコスト会計のミニディスク製造工程への適用事例」</li> <li>25. 圓川 隆夫「実践マテリアルフローコスト会計（17）マテリアルフローコスト会計とTPM（トータル・プロダクティブ・メンテナンス）」</li> <li>26. 斎藤 好弘「実践マテリアルフローコスト会計（16）金属部品加工工場へのマテリアルフローコスト会計の適用－サンデン株式会社での事例」</li> </ol>
<p>2008年  (30本)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 我妻 明「実践マテリアルフローコスト会計（39）産業用シート素材製造のMFCA導入」</li> <li>2. 楊軍「環境問題を抱える中国製造業の改善を促進する管理手法に関する研究MFCAとAHPとの統合事例（環境サステナビリティとマネジメント）」</li> <li>3. 小倉 礁「実践マテリアルフローコスト会計（38）多品種小ロットの精密板金加工におけるMFCA－テイ・エス・コーポレーションにおける事例」</li> <li>4. 名和 英夫「実践マテリアルフローコスト会計（37）輸送機器用パイプ部品へのMFCA試行」</li> <li>5. 阿藤 崇弘「実践マテリアルフローコスト会計（36）粘着マット製品におけるMFCA－スミロン三重工場における事例紹介」</li> <li>6. 下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計（35）木工製品へのMFCA適用と中小企業におけるMFCAのシステム化検討事例」</li> <li>7. 下垣 彰「サプライチェーンを通じたMFCAの適用」</li> </ol>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>8. 中畠 道靖「実践マテリアルフローコスト会計 (33) 大阪府工業協会におけるMFCA研究会の実施」</li> <li>9. 船坂 孝浩・河野 裕司「実践マテリアルフローコスト会計 (32) 田辺製薬吉城工場におけるマテリアルフローコスト会計の導入」</li> <li>10. 廣岡 政昭「実践マテリアルフローコスト会計 (31) MFCA手法導入による環境活動の変革」</li> <li>11. SHIBATA Manabu, MATSUMOTO Toru TIME-SERIES MFCA FOR ASSESSING RECYCLING POLICIES FOR REGIONAL RESOURCE CIRCULATION</li> <li>12. Nakajima Michiyasu "The new development of material flow cost accounting (MFCA) : MFCA analysis in power company and comparison between MFCA and TPM (total productive maintenance)"</li> <li>13. 梶原 晃「実践マテリアルフローコスト会計 (30) 林業経営における原価計算システム導入とマテリアルフローコスト会計への拡張可能性」</li> <li>14. 今田 裕美「実践マテリアルフローコスト会計 (29) 東北地域におけるマテリアルフローコスト会計の普及活動」</li> <li>15. 下垣 彰「材料のロスを"見える化"するMFCA活用入門 (最終回) モノづくりを鍛えるMFCA」</li> <li>16. 下垣 彰「材料ロスを"見える化"するMFCA活用入門 (5) MFCA導入時の落とし穴と対処法」</li> <li>17. 周 敦史・蒲原 弘継・後藤 尚弘「再生磁器製造システムのMFCA-LIME統合評価: 瀬戸市での取り組みを例にして」</li> <li>18. 安城 泰雄「ISO14000ファミリーの新しいテーマについて-日本初提案の新規格 "ISO14051マテリアルフローコスト会計" の国際標準化活動の状況」(特集 粉体技術とISO/JIS規格)</li> <li>19. 木村 耕一「食品企業の社会的責任 (42) マテリアルフローコスト会計」</li> <li>20. 経済産業省産業技術環境局環境調和産業推進室「環境経営の高効率化を目指すマテリアルフローコスト会計の普及と国際標準化」(特集 環境経営とCSR)</li> <li>21. 近畿経済産業局環境リサイクル課「環境負荷の「見える化」で低炭素社会を勝ち抜く「環境」をビジネスの力にする「製品グリーンパフォーマンス高度化推進手法と「マテリアル・フロー・コスト会計手法」セミナー開催報告」</li> </ol>
--	--

	<ol style="list-style-type: none"> <li>22. 國部 克彦「マテリアルフローコスト会計の国際標準化について－ISO 14051が始動」（特集 JEMAI：平成19年度事業成果報告）</li> <li>23. 國部 克彦「マテリアルフローコスト会計の意義と展開－環境管理会計による生産革新」</li> <li>24. 喜多川 和典「実践マテリアルフローコスト会計（34）中小企業におけるマテリアルフローコスト会計の活用方法」</li> <li>25. 國部 克彦・大西 靖・東田 明・堀口 真司「環境管理会計研究の回顧と展望」（&lt;特集&gt;管理会計研究の回顧と展望）</li> <li>26. 星野 篤「マテリアルフローコスト会計の国際標準について」（特集 資源とリサイクル）</li> <li>27. 國部 克彦・君塚 秀喜・古川 芳邦「緊急鼎談 MFC会計で強化される環境経費の競争力」（特集 隠れた廃棄物を丸見えにする トヨタ式カイゼン・MFC（マテリアルフローコスト）会計）</li> <li>28. 特集 隠れた廃棄物を丸見えにするトヨタ式カイゼン・MFC（マテリアルフローコスト）会計</li> <li>29. 藤田 利和「実践マテリアルフローコスト会計（28）ウシオにおける環境生産性向上への取り組み－マテリアルフローコスト会計の導入」</li> <li>30. 東田 明「マテリアルフローコスト会計のサプライチェーンへの拡張」</li> </ol>
<p>2009年 (21本)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 木村 眞実「社会的パースペクティブによる環境会計の考察－MFCAを対象として」</li> <li>2. 中嶋 道靖・山田 明寿「実践マテリアルフローコスト会計（51）MFCAとTRIZの連携による生産革新の促進について」</li> <li>3. 梨岡 英理子「実践マテリアルフローコスト会計（50）環境管理会計を使った経営革新のためのアプローチに関する考察－PIUS-CheckとMFCA，中小企業への導入事例をもとに」</li> <li>4. 田脇 康広「実践マテリアルフローコスト会計（49）サプライチェーン省資源化連携促進事業に参加して」</li> <li>5. 和氣 昭彦「実践マテリアルフローコスト会計（48）倉敷化工株式会社におけるサプライチェーン省資源化連携促進事業への取り組み－MFCA手法の実践とLCA評価の検証活動の成果」</li> <li>6. 永楽 俊晴「実践マテリアルフローコスト会計（47）ファブレスメーカーにおけるMFCAを活用した改善事例の報告と、効率的なものづくりへの課題－サプライチェーン省資源化連携促進事業の成果報告」</li> </ol>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 原田 聖明「実践マテリアルフローコスト会計 (46) MFCAの活用による [オムロン] グループ全体での資源生産性向上への挑戦」</li> <li>8. 北澤 英人「環境管理会計MFCAによる製造業の体質強化」</li> <li>9. 田村 政也「実践マテリアルフローコスト会計 (45) MFCAによる廃棄物削減活動のインプロセス化」</li> <li>10. 張 志仁・北田 皓嗣 [訳] 「実践マテリアルフローコスト会計 (44) 韓国におけるマテリアルフローコスト会計の実践-現状と今後の展開」</li> <li>11. 改革手法ウォッチングMFCA (マテリアルフローコスト会計) - 廃棄物コストを可視化 原材料の無駄を改善-積水化学工業, サンデン, 三菱重工業 (10分間で学べる業務革新講座)</li> <li>12. 岡田 斎・北田 皓嗣「実践マテリアルフローコスト会計 (42) 日本電気化学株式会社におけるマテリアルフローコスト会計の導入-京都MFCA研究会実証トライアル事業」</li> <li>13. Nakajima Michiyasu "Evolution of Material Flow Cost Accounting (MFCA) : Characteristics on Development of MFCA Companies and Significance of Relevance of MFCA"</li> <li>14. 齊藤 好弘「実践マテリアルフローコスト会計 (41) サプライチェーンへのMFCAの適用-サンデングループでの事例」</li> <li>15. 高橋 幸浩「実践マテリアルフローコスト会計 (40) セラミック粉末製造工程へのMFCAの適用-NEC トーキョーにおける事例」</li> <li>16. 末次 智美・伊坪 徳宏「LCAとMFCAの融合による製品の環境と経済の統合評価」</li> <li>17. 奥山 哲也・加藤 征三「LCC (Life cycle cost) の製品開発への活用」</li> <li>18. 伊藤 嘉博「わが国における環境管理会計の展開-マテリアルフローコスト会計を中心とした検討 (特集 環境会計の新展開)」</li> <li>19. 木村 眞実「マテリアルフローコスト会計の本質-社会的背景から」</li> <li>20. 鈴木 邦成「物流ABC マテリアルフローコスト会計」</li> <li>21. 國部 克彦「日本型環境管理会計の特徴と課題: マテリアルフローコスト会計を中心に」</li> </ol>
2010年 (42本)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 井岡 大度「マテリアルフローコスト会計と伝統的原価計算」</li> <li>2. 木村 眞実「マテリアルフローコスト会計の国際標準化に関する研究」</li> <li>3. 佐々木 修一「実践マテリアルフローコスト会計 (63) 「町工場連合」とサプライチェーン省資源化連携促進事業」</li> </ol>

4. 伊藤 嘉博「実践マテリアルフローコスト会計 (62) マテリアルフローコスト会計の深化と拡張の方向性－日本ユニシスサプライ(株)のケースを中心とした考察」
5. 原口 智博・原田 聖明・木村 嘉宏「実践マテリアルフローコスト会計 (61) オムロンレーアンドデバイスとサプライチェーン3社によるMFCA取り組み展開」
6. 下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計 (60) MFCAのシステム化と木工材料の材料ロス徹底削減」
7. 野谷 征史「実践マテリアルフローコスト会計 (59) (株) 藤田電機製作所におけるサプライチェーン 省資源化連携促進事業への取り組み」
8. 佐久間 清一「実践マテリアルフローコスト会計 (58) 「現場主体型」と「マクロ分析」のMFCAでコスト・排出物削減活動」
9. 岡田 斎「実践マテリアルフローコスト会計 (57) 栗本コンクリート工業株式会社におけるマテリアルフローコスト会計の導入」
10. 奈良 恒雄「マテリアルフローコスト会計の医薬中間体への適用」(特集 製造業へのMFCAの導入)
11. 天王寺谷 達将・北田 皓嗣・岡田 斎「実践マテリアルフローコスト会計 (56) 日本電気化学株式会社におけるマテリアルフローコスト会計の導入－化学銅めっき工程での導入事例」
12. 原田 聖明「オムロンにおけるマテリアルフローコスト会計の適用事例」
13. 谷口 孝弘「VE事例 環境経営でものづくり革新－MFCAによるエコノミーとエコロジーの両立」
14. 生出 丈「省資源化のためのサプライチェーン連携による「余肉ダイエット」活動」(特集 製造業へのMFCAの導入)
15. 下垣 彰「光産業におけるMFCAを活用した生産管理」(特集 製造業へのMFCAの導入)
16. 沼田 雅史「積水化学グループのモノづくり革新におけるMFCA全社導入について」(特集 製造業へのMFCAの導入)
17. 古川 芳邦・立川 博巳「マテリアルフローコスト会計のISO化 (ISO 14051) について」
18. 斉藤 好弘「サンデングループにおけるMFCA適用事例」(特集 製造業へのMFCAの導入)
19. 奈良 恒雄「マテリアルフローコスト会計の医薬中間体への適用」(特集 製造業へのMFCAの導入)

20. 下垣 彰「MFCAによる資源生産性向上とTPM活動」(特集 製造業へのMFCAの導入)
21. 特集 製造業へのMFCAの導入
22. 石川 浩二・竹浪 義起・平嶋 一隆 [他]・佐藤 洋「環境経営を推進するMFCAとITの必要性: MFCAの導入を支えるITの仕組み」
23. 下垣 彰「生産管理と連携させたMFCAのシステム化株式会社光大産業の生産管理システム構築とMFCA活用事例から」
24. 原田 聖明「オムロンにおけるマテリアルフローコスト会計の適用事例」
25. 中畠 道靖「MFCAの展開: サプライチェーンにおけるMFCAの有用性について」
26. 國部 克彦「MFCAの本質と展望: マテリアルフローとマネーフローの視点から」
27. 斉藤 好弘「環境活動による企業価値創造へーサンディンググループにおけるMFCA適用事例」(特集 ものづくりにおけるマテリアルフローコスト会計手法の活用)
28. 立川 博巳・古川 芳邦「ものづくり強化と資源生産性向上・二酸化炭素排出削減の促進をめざしてー日東電工のMFCA活用事例」(特集 ものづくりにおけるマテリアルフローコスト会計手法の活用)
29. Nakajima Michiyasu "Environmental Management Accounting for Sustainable Manufacturing: Establishing Management System of Material Flow Cost Accounting (MFCA)"
30. 本澤 裕起子・塩谷 明広・川原 千明「実践マテリアルフローコスト会計 (53) DNP ファインケミカル福島におけるMFCA導入事例」
31. 末次 智美・伊坪 徳宏「LCAとMFCAの融合による製品の環境と経済の統合評価手法の開発」
32. 伊藤 嘉博「CSR活動の経済性評価ーマテリアルフローコスト会計革新の可能性」
33. 安城 泰雄「マテリアルフローコスト会計 (MFCA) の概要と最新動向 (特別講演1, 低炭素社会を目指す「見える化」技術)」
34. 古川 芳邦・立川 博巳「マテリアルフローコスト会計ーISO/DIS 14051回付 日本発の国際規格が現在, 作成の真っ只中」
35. 阿部 圭司 特集「マテリアルフローコスト会計」を企画して
36. 特集 マテリアルフローコスト会計
37. 立川 博巳「実践マテリアルフローコスト会計 (55) マテリアルフローコスト会計の環境リスクマシメントへの応用可能性」

	<p>38. 村田明「実践マテリアルフローコスト会計（54）住友化学株式会社におけるマテリアルフローコスト会計の導入－ファインケミカル分野での導入事例」</p> <p>39. 静 俊二郎「実践マテリアルフローコスト会計（52）石灰鉱山業におけるマテリアルフローコスト会計」</p> <p>40. 中罵 道靖「マテリアルフローコスト会計の実務での有用性と今後の展開」（特集 ものづくりにおけるマテリアルフローコスト会計手法の活用）</p> <p>41. 國部 克彦「マテリアルフローコスト会計の意義」（特集 ものづくりにおけるマテリアルフローコスト会計手法の活用）</p> <p>42. 特集 ものづくりにおけるマテリアルフローコスト会計手法の活用</p>
<p>2011年  (46本)</p>	<p>1. 大関 光「実践マテリアルフローコスト会計（75）集知技術集団による最強アルミ加工技術の確立と省資源化活動：ブルーレイディスク・レコーダー外筐パネルの製造ライン」</p> <p>2. 古川 芳邦・立川 博巳「日本が主導するマテリアルフローコスト会計（ISO 14051）の国際標準化」（特集 ISO マネジメントシステム 総まくり15セクター&amp;関連規格）</p> <p>3. 新帯 哲哉「実践マテリアルフローコスト会計（74）完成度の高い既存商品のロスをMFCAで徹底追及」</p> <p>4. 中山 恵一「実践マテリアルフローコスト会計（73）MFCAによるロスの見える化で廃棄物量1/5に！－サプライチェーン連携強化によるマテリアルロスの削減」</p> <p>5. 黄 文秀「中国製造業におけるマテリアルフローコスト会計の導入に関する基礎的研究」</p> <p>6. 古川 芳邦・立川 博巳「国内標準化情報 マネジメントシステム規格情報 マテリアルフローコスト会計（ISO 14051）の国際標準化」</p> <p>7. 玉澤 早苗「大平洋金属チーム 見過ごされた資源、二段構えの有益化」（特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ）</p> <p>8. 岡田 斎「栗本コンクリート工業 重厚長大産業へのMFCA導入」（特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ）</p> <p>9. 徳永 重生「生方製作所チーム 完成度の高い既存製品のロスをMFCAで徹底追及」（特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ）</p> <p>10. 和泉 高雄「ミツパチチーム 川上から川下までのロス検出力の向上とデザイン革新によるグリーンファクトリー（ECO工場の実現）」（特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ）</p>

11. 近藤 學「佐渡島テックチーム "集知" 技術集団による最強アルミ加工技術の確立と省資源活動」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
12. 近藤 學「京写チーム ロスの見える化で廃棄物量1/5に!サプライチェーン連携強化によるマテリアルロスの削減」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
13. 近藤 學「アサヒチーム 塗着率, 増やして達成 "省資源", 「町工場連合」によるトッパカバー製造工程の材料ロス削減」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
14. 下垣 彰「リバース 水の使い方を評価した製紙工場」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
15. 下垣 彰「群馬合金 熱損失を評価した鋳造のMFCA」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
16. 下垣 彰・安城 泰雄「水の利用と排水処理に着目したMFCA」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
17. 下垣 彰・安城 泰雄「エネルギーロスを熱量とコストで見える化するMFCAの考え方」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
18. 中島 道靖「MFCAキットによるマテリアルフローコスト会計のポイント」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
19. 古川 芳邦・立川 博巳「ISO14051の動向とMFCAのグローバルな展開について」(特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ)
20. 古川 芳邦・立川 博巳「実践マテリアルフローコスト会計 (72) マテリアルフローコスト会計 (ISO14051) の最新動向-ISO/TC207オーストロ総会における活動」
21. 天野 輝芳・松井 豊「実践マテリアルフローコスト会計 (71) 医療機関へのマテリアルフローコスト会計の導入-血液透析の事例」
22. 特集 負のコストをあぶり出すMFCAの最新アプローチ
23. 吉崎 祐里・松村 秀一・木本 健二・川崎 淳志・鈴木 寛明・中島 貴春「8067 資源循環施設を中心とする環境マネジメントシステム:工業化戸建住宅(木質パネル接着工法)の生産システムの標準化その16(工業化・鉄骨,建築社会システム)」
24. 下垣 彰・安城 泰雄「実践マテリアルフローコスト会計 (70) マテリアルのロス削減につながるMFCA」



	<p>25. 木村 眞実「自動車解体業のMFCAに関する研究－MFCAの作成を中心に」</p> <p>26. 木村 眞実「マテリアルフロー」による環境管理会計の生成・発展－「クリーナープロダクション」の考え方」</p> <p>27. 安城 泰雄「実践マテリアルフローコスト会計 (69) 食品加工業における「MFCAバランス集計表」の導入」</p> <p>28. 渡辺 一重・勝呂 信夫「実践マテリアルフローコスト会計 (68) 店舗用機器の整備・クリーニングサービスへのMFCA適用事例」</p> <p>29. 高草木 亮・富所 弘栄「実践マテリアルフローコスト会計 (67) 川上から川下までのロス検出力の向上とデザイン革新によるグリーンファクトリー (ECO工場) の実現－ (株) ミツバにおけるサプライチェーン省資源化連携促進事業への取り組み」</p> <p>30. 下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計 (66) 日本MFCAフォーラムの活動」</p> <p>31. Nakajima Michiyasu "Environmental management accounting for cleaner production : systematization of material flow cost accounting (MCFA) into corporate management system"</p> <p>32. 関 利恵子「長野県中小企業三社における環境管理会計手法の導入に関する実態調査－マテリアルフローコスト会計の導入成果と活用可能性」</p> <p>33. 加藤 正貴「実践マテリアルフローコスト会計 (65) 大平洋金属株式会社におけるサプライチェーン省資源化連携促進事業への取り組み－見過ごされた資源、二段構えの有益化」</p> <p>34. 遠藤 明宏「実践マテリアルフローコスト会計 (64) 液晶テレビ用キャビネット製造工程の改善と省資源化への取り組み」</p> <p>35. 東田 明「サンデン株式会社におけるマテリアルフローコスト会計の展開」</p> <p>36. 河野 正男「環境マネジメントの進展と管理会計」(特集 原価計算－過去, 現在, そして未来)</p> <p>37. 沼田 雅史「積水化学グループにおけるモノづくり革新によるマテリアルフローコスト会計導入の取り組み」&lt;特集&gt;モノづくりと環境のマネジメント</p> <p>38. 滝沢 龍一・花岡 健一・石坂 和明 [他]「工程改善効果の試算手法の検討: 環境対応型ものづくりの実現に向けて」</p> <p>39. 末次 智美・伊坪 徳宏「LCAとMFCAの融合による製品の環境と経済の統合評価手法の開発」</p>
--	--

	<p>40. 後藤 尚弘・澤井 勇輔「理系高等教育機関学生に有効な環境教育コンテンツに関する研究」</p> <p>41. 北田 皓嗣「マテリアルフローコスト会計による管理実践の拡張」</p> <p>42. 中嶌 道靖「マテリアルフローコスト会計（MFCA）による内部リサイクル材のコストマネジメントに関して」</p> <p>43. 井岡 大度「マテリアルフローコスト会計における相互配賦法の適用」</p> <p>44. 國部 克彦「サプライチェーンへのマテリアルフローコスト会計導入の意義と課題」（&lt;特集&gt;モノづくりと環境のマネジメント）</p> <p>45. 高桑 宗右エ門「生産と環境のマネジメント（&lt;特集&gt;モノづくりと環境のマネジメント）」</p> <p>46. 國部 克彦「マテリアルフローコスト会計による生産と環境のマネジメント」（&lt;特集&gt;ものづくりとIT）</p>
2012年 (30本)	<p>1. 立川 博巳「実践マテリアルフローコスト会計（第86回）MFCAの次なる国際標準に向けた議論の最新動向：ISO/TC207バンコク総会の報告」</p> <p>2. 中嶌 道靖「解題深書 環境管理会計・マテリアルフローコスト会計」</p> <p>3. 関 利恵子「実践マテリアルフローコスト会計（第85回）長野県におけるMFCAの取り組み」</p> <p>4. 萬田 義人「実践マテリアルフローコスト会計（84）食品小売業におけるマテリアルフローコスト会計の導入研究：生鮮部門の食品廃棄物に関する考察」</p> <p>5. 天王寺谷 達将・北田 皓嗣・岡田 斎[他]「実践マテリアルフローコスト会計（83）マテリアルフローコスト会計情報の利用可能性：日本電気化学株式会社における静電塗装工程の事例」</p> <p>6. 関 利恵子・滝沢 龍一「マテリアルフローコスト会計へのブロック図の適用：製造プロセスにおけるシミュレーション」</p> <p>7. 省エネ・省資源時代に注目されるMFCA</p> <p>8. 中嶌 道靖・木村 麻子「実践マテリアルフローコスト会計（82）MFCAのISO化によるアジアへの展開：マレーシア・ベトナムを例として」</p> <p>9. 下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計（81）マレーシアでのマテリアルフローコスト会計の応用展開」</p> <p>10. 下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計（80）省エネのMFCA：用役のエネルギーロスを見える化」</p>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>11. 國部 克彦「実践マテリアルフローコスト会計 (79) MFCAの国際動向:国際シンポジウム「アジアにおけるサプライチェーンのグリーン化のための環境会計とLCA」より」</li> <li>12. 張 本越・鈴木 和男「中国における環境経営に基づいたMFCA導入の可能性」</li> <li>13. 安城 泰雄「実践マテリアルフローコスト会計(78)日本MFCAフォーラムWG3活動状況報告WG3研究テーマ「ME:もったいないエンジニアリング」:生産革新ツールとしてのMFCA」</li> <li>14. 神長 誉夫「ISO14051としてお墨付き! MFCA (マテリアルフローコスト会計) 導入で製造コストをいかに減らすか (後編)」</li> <li>15. 神長 誉夫「ISO14051としてお墨付き! MFCA (マテリアルフローコスト会計) 導入で製造コストをいかに減らすか (前編)」</li> <li>16. 蔣 飛鴻「CSR, 環境経営と環境管理会計:マテリアルフローコスト会計に焦点をあてて」</li> <li>17. 國部 克彦・湖上 智子・山田 明寿「実践マテリアルフローコスト会計 (77) MFCAとCFPの統合モデルの開発」</li> <li>18. 大木 悦郎・仲井 俊文「実践マテリアルフローコスト会計 (76) 武田鑄造株式会社における熱損失の評価へのMFCA適用事例」</li> <li>19. 東田 明「マテリアルフローコスト会計と既存の生産管理手法との比較検討の意義:マテリアルフローコスト会計と管理会計システムの連携の可能性」</li> <li>20. 天王寺谷 達将「普及の視点からみるマテリアルフローコスト会計の位置づけの再考」</li> <li>21. 今井 範行「マテリアルフロータイムコスト」概念の提唱:トヨタ生産システムとマテリアルフローコスト会計の統合的進化の可能性に関する一考察-」</li> <li>22. 奈良 松範・趙 小儀「G200012 環境関連法がマテリアルフローコスト会計に及ぼす影響評価」</li> <li>23. 税務会計論ゼミナールマテリアルフローコスト会計の有用性</li> <li>24. 上野 秋実「MFCAに取り組んで」(特集 これからのものづくり)</li> <li>25. 渡辺 直文「原材料のロスを見える化するMFCA」特集 これからのものづくり</li> <li>26. 東田 明「マテリアルフローコスト会計と既存の生産管理手法との比較検討の意義:マテリアルフローコスト会計と管理会計システムの連携の可能性」</li> </ol>
--	--

	<p>27. 中畠 道靖・木村 麻子「MFCAによる改善活動と予算管理」</p> <p>28. 北田 皓嗣・天王寺谷 達将・岡田 斎・國部 克彦「会計計算を通じた知識形成に関する研究：日本電気化学におけるMFCA導入事例を通じて」</p> <p>29. 立川 博巳「マテリアルフローコスト会計の意義と国際標準化」&lt;特集&gt;モノづくりと環境のマネジメント（II）</p> <p>30. 高桑 宗右エ門「技術マネジメントとしての生産と環境のマネジメント」(&lt;特集&gt;モノづくりと環境のマネジメント（II）)</p>
<p>2013年 (20本)</p>	<p>1. 岡田 華奈・國部 克彦「実践マテリアルフローコスト会計(第98回)マテリアルフローコスト会計の導入効果：企業単独とサプライチェーンの比較検討」</p> <p>2. 下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計（第97回）MFCA10年の進化を振り返る」</p> <p>3. 中澤 優介・天王寺谷 達将・國部 克彦「実践マテリアルフローコスト会計（第96回）MFCAの国際的研究動向：EMAN2013報告論文の分析」</p> <p>4. 賀 振華・國部 克彦「実践マテリアルフローコスト会計（第95回）中国における資源フローコスト会計の展開」</p> <p>5. 金 宰弘・國部 克彦「実践マテリアルフローコスト会計（第94回）韓国におけるマテリアルフローコスト会計の展開」</p> <p>6. 横山 一朗「MFCAと統合報告書」</p> <p>7. 中畠 道靖・岡 照二・呉 綺「中国における環境管理会計の構築に向けて：中国の持続的経済発展に寄与するMFCA」</p> <p>8. 伊藤 嘉博「MFCAの操作性向上を支援する品質コストアプローチ」</p> <p>9. 鈴木 宏章「実践マテリアルフローコスト会計（第93回）MFCAを活用した原価低減活動：荒川工業（株）における事例紹介」</p> <p>10. 下垣 彰「実践マテリアルフローコスト会計（第92回）経営のMFCAとシステム化：継続的な資源生産性改善」</p> <p>11. 清水 敬祐・石川 智治「実践マテリアルフローコスト会計(第91回)MFCAに活用できるエネルギー計測と管理手法の検討」</p> <p>12. 中畠 道靖・國部 克彦「実践マテリアルフローコスト会計(第90回)MFCAとLCAとの交流とその可能性：エコバランス国際会議2012から」</p> <p>13. 張 本越・鈴木 和男「中国におけるMFCA研究の現状と今後の課題」</p>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>14. 趙 潤・市村 光・唐 旭中 [他] 「実践マテリアルフローコスト会計（第89回）生産ロットサイズによる環境コストへの影響に関する研究：MFCAとシミュレーションの視点から」</li> <li>15. 湯川 創太郎「実践マテリアルフローコスト会計（第88回）物産産業連関表を用いた地域のマテリアル・フロー解析」</li> <li>16. 國部 克彦・北田 皓嗣・淵上 智子 [他] 「実践マテリアルフローコスト会計（第87回）MFCA-CFP統合モデルの実践への適用可能性」</li> <li>17. 木村 麻子・中寫 靖「低炭素型サプライチェーン構築に向けたMFCA導入の課題：資源生産性に関するアンケート調査をもとに」</li> <li>18. 飛田 甲次郎・中寫 道靖・木村 麻子「全体最適化に資するMFCAの拡張：MFCAとTOCの相互補完性」</li> <li>19. 東田 明・國部 克彦・篠原 阿紀「環境管理会計による可視性の創造と変容：A社におけるマテリアルフローコスト会計実践の時系列分析を通じて」（&lt;特集&gt;計算の力学）</li> <li>20. 天王寺谷 達将「マテリアルフローコスト会計が構築するイノベーションの場：資源動員力の観点からの考察」（&lt;特集&gt;計算の力学）</li> </ol>
<p>2014年 (14本)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 蒙 雪超「MFCA手法の中国中小鉄鋼企業への適用」</li> <li>2. 3月末までに国際会議設置是非の投票結果、廃棄物に価格つけ環境改善も日本発マテリアルフローコスト会計が国際標準規格化提案へ</li> <li>3. 篠原 阿紀・Aki SHINOHARA「サプライチェーンにおけるマテリアルフローコスト会計情報の共有に関する研究」</li> <li>4. 國部 克彦「実践マテリアルフローコスト会計（第100回・最終回）実践マテリアルフローコスト会計シリーズの貢献：連載100回をふりかえって」</li> <li>5. 関 利恵子「マテリアルフローコスト会計による継続的改善活動：株式会社駒ヶ根電化の事例研究」（平井克彦教授古稀記念号）</li> <li>6. 國部 克彦「MFCAとLCAの統合モデルの可能性」（特集 学会設立10周年）－（10周年に寄せて）</li> <li>7. 東田 明・國部 克彦「企業経営における環境と経済の統合と離反：MFCA導入事例を通して」（&lt;特集&gt;社会と環境の会計学）</li> <li>8. KIMURA Asako, NAKAJIMA Michiyasu "The Potential for MFCA Spread in Supply Chains Through Information Sharing "</li> <li>9. 中寫 道靖「実践マテリアルフローコスト会計（第99回）マテリアルフローコスト会計（MFCA）の次の10年の展開に向けて」</li> </ol>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>10. 國部 克彦・黒岩 進 [聞き手] 新春特別インタビュー 國部克彦氏にきく 環境経営の意思決定をサポートする環境会計：グリーンサプライチェーンとMFCAから統合報告まで (特集 これからの環境経営2014)</li> <li>11. 立花 潤三・周 敦史・蒲原 弘継 [他]・後藤 尚弘「再生磁器製造システムのMFCA-LCA統合評価：-瀬戸市の取り組みを例にして-」</li> <li>12. 森 智哉・後藤 時政・岡崎 一浩・杉谷 卓志「MFCAを用いた原価管理手法に対する一考察」</li> <li>13. 中畠 道靖・木村 麻子「サプライチェーンへのMFCA活用の課題：バイヤー企業とサプライヤー企業とのヒアリング調査を通じて」</li> <li>14. 下垣 彰「企業への適用を通じたMFCAの進化の研究」</li> </ol>
2015年 (10本)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安城 泰雄「マテリアルフローコスト会計 (MFCA) とその実践：環境負荷低減とコストダウンを同時に実現する新しい手法」(特集 現場レベルで考える環境対策)</li> <li>2. 篠原 阿紀「本におけるマテリアルフローコスト会計の研究動向」</li> <li>3. 下垣 彰「省エネに役立つMFCA」(特集 省エネに新風を起こす省エネルギー支援ビジネスの展開：産業編)</li> <li>4. 木村 眞実・岸本 孝根「自動車解体業へのMFCAの適用：樹脂リサイクルを対象として」</li> <li>5. 大田 博樹「CSV戦略における環境管理会計の活用法に関する一考察：マテリアルフローコスト会計を中心として」</li> <li>6. 岡田 華奈「組織間管理会計とマテリアルフローコスト会計」</li> <li>7. 木村 麻子・中畠 道靖「MFCAによる製造現場のロス削減活動：作業者の動機付けを目的に」</li> <li>8. 下里 直子・高木 秀昭・成田 博「MFCAと環境影響評価手法の融合化による工程改善ポイントの抽出に関する研究」</li> <li>9. 木村 眞実・外川 健一・劉 庭秀・岸本 孝根「自動車リサイクルにおけるマテリアルフローコスト会計に関する研究序説」</li> <li>10. 中畠 道靖・飛田 甲次郎・木村 麻子「MFCAとTOCによる環境管理会計の実務的課題と新たな利益獲得の可能性：事例研究を通して」</li> </ol>
2016年 (8本)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 篠原 阿紀「マテリアルフローコスト会計に関する文献レビュー」</li> <li>2. 書評 國部克彦・伊坪徳宏・中畠道靖・山田哲男編著「低炭素型サプライチェーン経営：MFCAとLCAの統合」</li> </ol>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. モラー A・プロックス M.岡 照二 [訳]・中畠 道靖 [訳]「意思決定支援ツールとしてのマテリアルフローコスト会計」(特集 マテリアルフローコスト会計 (MFCA))</li> <li>4. 東田 明「MFCAのサプライチェーンへの展開:LCAとの連携を視野に」(特集 マテリアルフローコスト会計 (MFCA))</li> <li>5. 國部 克彦「MFCAによる経済と環境の連携を再考する:MFCA-LCA統合モデルの展開へ」(特集 マテリアルフローコスト会計 (MFCA))</li> <li>6. 中畠 道靖・ワグナー B「サステナビリティマネジメント手法としてのマテリアルフローコスト会計 (MFCA) の新たな可能性に向けて: ISO14051と ISO14052の国際規格化を参考に」(特集 マテリアルフローコスト会計 (MFCA))</li> <li>7. 関 利恵子・安城 泰雄「MFCA の継続的導入とマネジメントツールとしての展開可能性:株式会社駒ヶ根電化における考察」</li> <li>8. 下里 直子・田原 一人・勝本 浩一・山下 政隆・成田 博・高木 秀昭「めっき加工工程における環境負荷低減効果の評価手法の検討」</li> </ol>
<p>2017年 (1本)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 木村 眞実「マテリアルフローコスト会計による樹脂リサイクル工程の評価について (持続可能なプラスチックリサイクルにむけて)」</li> </ol>

